

大森日赤だより

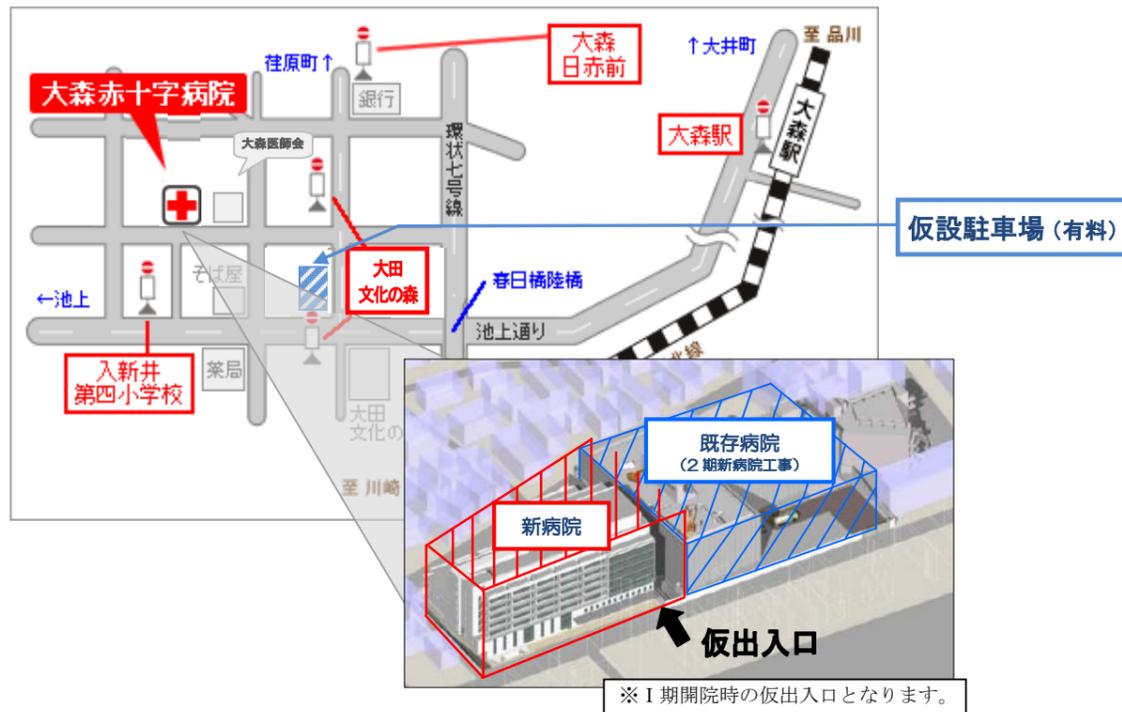
病院概要

名称：日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院

所在地：東京都大田区中央4丁目30番11号

受付時間：午前8時30分～11時00分迄 ※詳細は外来診療日程表をご確認ください。(救急は随時)

休診日：土曜日・日曜日・祝日・日本赤十字社創立記念日(5/1)・年末年始(12/29～1/3)

診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、外科
呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、麻酔科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科
婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科 人間ドック・各種健診指定医療：各種健康保険・老年医療・生活保護医療(入院助産施設)・結核医療(通院)・養育医療・育成医療
身体障害医療・被爆者医療・母子健康法・特殊疾病医療・更生医療・労災保険・公害医療

○アクセス

京浜東北線「大森駅」(約8分)

西口より東急バス①②③④番に停車するバスにて「大田文化の森」下車

東急池上線「池上駅」(約10分)

東急バス「大森駅」行きにて「入新井第四小学校」下車

東急大井町線「荏原町駅」(約10分)

東急バス「蒲田駅」「大森駅」行きにて「大森日赤前」下車

【車でお越しの方】病院Ⅱ期工事に伴い、6/1(火)をもって旧病院中庭駐車場を廃止しました。

6/2(水)よりⅡ期工事期間中は、上記の場所を仮設駐車場(有料)とします。

期間中、車でのご来院の方にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力をさせていただきますようお願い申し上げます。

なお、仮設駐車場駐車台数に限りがありますので、満車の場合は、近隣時間貸し駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。



南側より撮影

【基本理念】

信頼され心あたたまる病院

【基本方針】

1. 安全で質の高い・患者さまの立場にたった丁寧な医療を提供します。
2. 救急医療の充実と発展に努めます。
3. 地域医療連携を推し進めます。
4. 災害救護に積極的に取り組みます。
5. 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
6. 医療従事者の教育と研修を推進します。

NEMU

乳腺外科のご紹介

「乳がんは検診で分かる
数少ない病気の一つです。」

- ◆乳がん検診の重要性
- ◆乳がん検診の方法とその効果
- ◆当院の乳がんへの取り組み
- ◆マンモグラフィー検査Q&A

乳がんは検診で分かる 数少ない病気の一つです

乳腺外科 部長 鈴木 規之



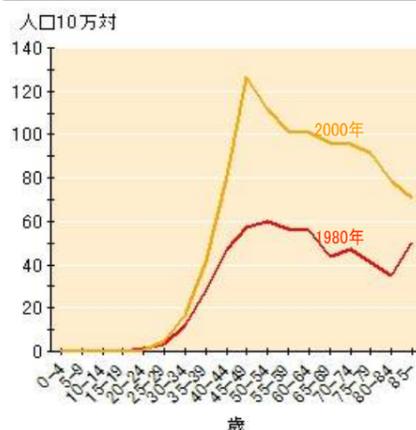
乳がん検診の重要性

乳がんにかかる人は年々増加しており、今や日本女性の約20人に1人が乳がんにかかるといわれています。また、乳がんだけでなく人も増加傾向にあり、年間約1万人の方がこの病気で命を失っています。ここ20-30年間の乳がん発生率の急激な増加は、初潮年齢の早期化、高年齢初産、未婚、動物性脂肪過剰摂取、アルコール飲用などに代表される食生活やライフスタイルの欧米化が、女性ホルモンであるエストロゲンの分泌に影響しているためとみられています。

表に示しますように、乳がんにかかる人のピークは40歳代後半にあり、閉経後にわずかに乳がんにかかる率は減少しますが、女性は何歳でも乳がんにかかる可能性があります。女性の誰もが乳がんについて関心を持つ必要があるのです。

残念ながら、現在、乳がんの確実な予防法というものはありません。しかし、乳がんは検診が有効なことが科学的に証明されている数少ない病気の一つです。乳がんを検診で早期に発見できれば、乳房温存手術のような小さな手術で、より高い確率で治療することが可能になります。

乳がんの年齢別罹患率とその推移



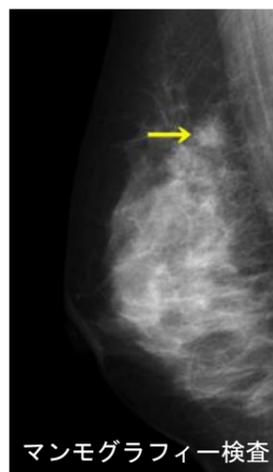
資料：国立がんセンターがん対策情報センター

乳がん検診の方法とその効果

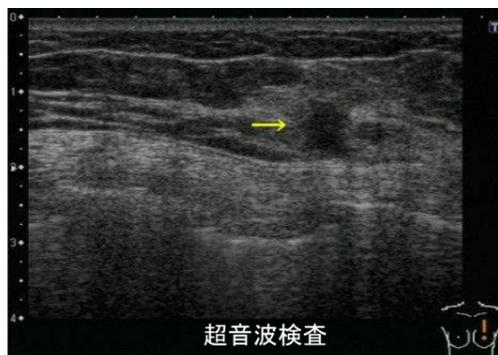
従来まで行われていた視触診による乳がん検診は効果が低いことが明らかになり、2004年に厚生労働省から「40歳以上の女性を対象とした2年に1度のマンモグラフィを原則とした乳がん検診」を推進するように指針が出されました。マンモグラフィ検査によって、触診ではわからないような小さなしこりや、石灰化という、しこりを作る前の微細な影を発見することが可能になり、乳がん検診は大きな進歩を見せました。しかし、日本で増えている40歳代の乳がんでは、マンモグラフィ検査でしこりが厚く密な正常乳腺に隠れてしまうことがあり、より効果のある検診方法の導入が必要とされています。

そこで注目されているのが、乳腺が密な若い女性にも有効な超音波検査をマンモグラフィと併用して行う乳がん検診で、厚生労働省も2007年「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」を立ち上げています。

次の写真は乳がん検診で発見された右乳房の早期乳がん(約6mm大)の例です。マンモ



マンモグラフィ検査



超音波検査

グラフィと超音波検査の両方で、自覚症状がでる前に小さなしこりを見ることができました。手術も乳房温存術が可能でしたし、抗がん剤を使った化学療法も行わずにすみました。検診で乳がんを早期に発見できれば、治癒の確率が高まるだけでなく、より小さな手術や簡単な方法で治療することができるという乳がん検診が有効だった良い例だと思います。

大森赤十字病院の乳がんへの取り組み

2010年5月末に新病院が開院されたのを機に、マンモグラフィはデジタルマンモグラフィを用いたモニター診断装置に、超音波検査装置は最新型の高精度の機器に更新をいたしました。もちろん、結果判定は「マンモグラフィ読影認定医(A判定)」や「超音波専門医・指導医」などの専門的な資格を有する、乳がん検診に精通した「乳腺外科」の医師が担当しており、ご希望していただければどなたでも、マンモグラフィと超音波検査を併用した精度の高い乳がん検診をお受けいただくことができます。

当院は、乳房MRIやセンチネル・ナビゲーターなどの機器の充実に加え、乳がん検診後の精密検査、治療に関しても十分な体制を整えています。「日本乳癌学会」の施設認定を取得し、新設の乳腺外科の「乳腺専門医」の指導のもと、「地元大森で安心して専門的な乳がん診療が受けられる」ことを目標に、患者さんの気持ちを大切に考えた診療活動を積極的に展開しています。

乳房についてのご心配事がおありの方はもちろんのこと、症状のない方、検診をご希望の方も、どうぞお気軽に**乳腺外科**にご相談ください。

外来日程表(外科)

	月	火	水	木	金
午前	鈴木	中山 米山	佐々木 加賀谷 富林	渡辺	佐々木 鈴木 米山
午後	鈴木		中山	担当医	鈴木

乳腺外科のご案内や鈴木乳腺外科部長のプロフィールは、「診療科のご紹介」パンフレット又はホームページに詳しく掲載しておりますのでそちらもご覧下さい。

乳がん検診

マンモグラフィ検査ってどんな検査?



Q1.マンモグラフィ検査ってどうやって撮影するの?

乳房を挟みながら圧迫して、上下・左右の方向から計4枚撮影します。

Q2.痛いですか?

乳房を挟むことにより痛みを伴うこともありますが、病気を見つける上でとても大切なことです。

Q3.マンモグラフィ検査はどのくらいの頻度で受ければいいですか?

視触診と併せて最低2年に1度、出来れば1年に1度受けるようにしましょう。

Q4.生理との関係はありますか?

生理前には、ホルモンの関係で乳房が張って痛むことがあります。検診は出来れば生理が始まってから2~3日目以降に受けられるのが良いでしょう。

Q5.放射線の体に及ぼす影響は?

マンモグラフィ撮影の放射線量はごくわずかで人体へ及ぼす危険性はほとんどありません。それより検査を受けて早期乳がんが発見出来ることのメリットの方がはるかに大きいでしょう。